

村上 常雄 議員



一括質問方式

- ① 大洲市復興計画
- ② 地域内交通（支線）
- ③ 柚木梁瀬地区及び高富川の治水対策
- ④ 観光事業

地域内交通（支線）について

問 先日の全員協議会で、地域内交通（支線）の見直しについては、協議が調った地区などを対象に事前登録、予約制のデマンド運行を行い、1日2往復を基本に見直しをしたい旨の説明を受けたが、山間部など、一定の利用者が見込まれない交通空白地に対しては、どのような支援策を検討されているのか。

答 需要が見込まれない交通空白地は、例えば遠く離れた一軒家あるいは一、二軒が遠く離れて点在し

ている山間部等を想定しています。一定要件を満たす障がい者に対してタクシーの利用助成を行う大洲市障がい者タクシー利用助成事業を既に実施していますので、これらを踏まえ制度のあり方の検討を進めたいと考えています。

柚木梁瀬地区及び高富川の治水対策について

問 柚木梁瀬地区は大洲道路が堤防

の豪雨災害では大洲道路の下を抜けるトンネルから肱川本川の水が流れ込み浸水被害を受けた。ここは、今回の肱川緊急治水対策事業に含まれておらず、現在の肱川水系河川整備計画の区域にも入っていない状況だが、この地区の治水対策をどのように考えているのか。

答 愛媛県では、現在河川整備計画

の見直しを行っており、この見直しにあわせて対策の検討を進めているとのことですが、市としては梁瀬地区をはじめ、現行の河川整備計画に入っていない無堤地区に関しても、新たな河川整備計画に位置づけ、堤防整備等による治水安全度の向上を要望しているところです。

なお、梁瀬地区を含めた柚木地区及び如法寺地区では6月下旬に激特

事業による築堤工事の説明会を開催する予定としています。

観光事業について

問 大洲城天守は外観だけ復元した

天守とは全く異なり、その歴史的価値はとてつもなく大きい。また、平成16年に市民の皆様の寄附により復元され、今や市のシンボルとなっている。市民の皆様に説明もななく、いわば商業目的と言える活用方法に転換してもいいのか。

私は、たとえば実証実験とはいえ、大洲城天守を宿泊施設として利用することにについては言語道断であり、賛成することはできない。

市民の皆様に対し、今後どのように説明責任を果たし、ご理解を得ていくつもりなのか。

答 大洲城キャスルスステイは、来

訪者に対し、一般公開のみならず、歴史に基づいた特別な体験を提供し、特別な料金を得ることで管理や修繕に向けた新たな財源確保策を講じるとともに、文化財としてさらなる認知度の向上を図っていこうとするものです。また、本市の展開する観光まちづくりを広く国内外へと情報発信していくためのフラッグ事業でもあります。



実証実験を予定している大洲城天守

天守での宿泊をする計画としておりますが、入浴や厨房のための空間等は二の丸に整備し、天守等には手を加えることはありません。しかし、大洲城天守は市民の皆様のご熱意で復元されたもので、皆様のご意見を伺いながら事業を進めることが重要であるため、文化財保護審議委員会をはじめ関係者で組織する検討委員会を発足し、趣旨や方針をご検討いただきました。今後さまざまな会合等において機会を得ることができれば、説明させていただきたいと考えています。